

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年8月7日

上場会社名 株式会社角川ホールディングス（コード番号：9477 東京証券取引所市場第二部）
 （URL <http://www.kadokawa-hd.co.jp/>）

代表者 役職名 代表取締役社長兼CEO 氏名 角川 歴彦
 問合せ先責任者 役職名 財務・経理グループ統括マネジャー 氏名 松原 眞樹 TEL (03)3238-8401

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : 中間連結財務諸表作成基準
- ② 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有（税金費用の計算は簡便法による）
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有（連結：新規2社）
- ④ 公認会計士又は監査法人による関与の状況 : 無

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高	営業利益	経常利益	当期（四半期）純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年3月期第1四半期	21,804 Δ0.1	916 0.5	1,216 68.3	516 171.9
15年3月期第1四半期	21,823 Δ0.9	912 -	722 -	190 -
（参考）15年3月期	88,801	3,544	3,639	1,421

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第1四半期	20 03	20 00
15年3月期第1四半期	7 72	-
（参考）15年3月期	52 58	-

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	104,504	73,548	70.4	2,857 75
15年3月期第1四半期	102,291	68,949	67.4	2,801 40
（参考）15年3月期	105,912	73,366	69.3	2,835 56

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	1,117	3,030	Δ741	31,272
15年3月期第1四半期	937	715	Δ323	20,635
（参考）15年3月期	8,136	153	Δ814	27,864

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	43,000	1,250	650	
通期	90,000	4,300	1,700	61 50

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページを参照してください。

1. 定性的情報等

(1) 経営成績（連結）の進捗状況に関して

当四半期（平成15年4～6月）における日本経済は、個人消費をはじめ、国内景気の回復は依然として進まず、デフレ不況が長期化するなか、企業を取り巻く環境は、先行き不透明感を拭えないまま推移しました。

出版業界は、社団法人出版科学研究所の調査によれば、当四半期の出版物推定販売金額は前年同四半期に比べて、雑誌が3.6%減、書籍が8.0%減、全体で5.4%減のマイナス成長となり、厳しい経営環境が継続しました。

一方、映像ソフト業界は、社団法人映像ソフト協会の調査によれば、当四半期のDVD・ビデオソフト販売額は、812億8百万円（前年同四半期比8.2%増）となり、継続的な成長を維持しました。

このような環境のもと、当社は、グループをあげて多様なコンテンツの創出とマーケティングに努めた結果、当四半期の連結業績は、売上高218億4百万円（前年同四半期比99.9%）、営業利益9億16百万円（前年同四半期比100.5%）、経常利益12億16百万円（前年同四半期比168.3%）、当期純利益5億16百万円（前年同四半期比271.9%）となりました。

なお、当社は、4月に商号を「株式会社角川書店」から「株式会社角川ホールディングス」に変更して持株会社となりました。同時に、会社分割により「株式会社角川書店」を新設して、従来の出版事業等の営業の一切を承継させました。

今後、当社は、新設した(株)角川書店及び(株)メディアワークス、(株)エス・エス・コミュニケーションズ、(株)角川大映映画の各コンテンツ事業会社並びに物流会社(株)ビルディング・ブックセンターを統括し、グループ全体を見渡した事業展開力の拡充に努めていきます。

各事業セグメントの概況は次のとおりです。

出版事業セグメントは、売上高183億39百万円、営業利益12億19百万円となりました。

雑誌・広告部門は、引き続き厳しい景況感に伴う低調な業界環境の影響を受けていますが、多様な領域でのブランド力を活かし、市場での認知度の強化に努めています。

角川書店では、「週刊ザテレビジョン」「月刊ザテレビジョン」が引き続きテレビ番組情報誌トップの地位を堅持しています。また、アニメ・コミック誌分野では、「機動戦士ガンダム」ブームの拡大にともない、「ガンダムエース」「ニュータイプ」が売上を伸ばしました。

メディアワークスでは、「電撃PlayStation」をはじめとするゲーム誌が堅調に推移しました。また、ホビー誌「電撃HOBBY MAGAZINE」が近年のフィギュアブームに乗って好調を維持しました。

エス・エス・コミュニケーションズでは、生活情報誌「レタスクラブ」がリニューアル後の好調を維持しています。また、子ども情報誌「sesame」は、その読者層から安定した支持を受けて順調に推移しました。

書籍部門は、編集企画力及びマーケティング力の強化策が奏功して、数多くの話題作、ヒット作に恵まれ、好調を維持しています。

単行本は、「朝には紅顔ありて」（角川書店刊 大谷光真著）「エ・アロール それがどうしたの」（角川書店刊 渡辺淳一著）「僕の生きる道」（角川書店刊 橋部敦子著）「管仲 上・下」（角川書店刊 宮城谷昌光著）等が話題を集めヒット作品となりました。

文庫は、「あやし」（角川書店刊 宮部みゆき著）「生きていてよかった」（角川書店刊 相田みつを著）「キノの旅 7」（メディアワークス刊 時雨沢恵一著）等がヒットしました。角川文庫創刊55周年に当たり、ラインナップを充実させるとともに強力な販売体制を採っていきます。

コミックは、「ファイブスター物語 11」（角川書店刊 永野護著）「びたテン 7」（メディアワークス刊 コゲどんぼ著）等が堅固なファン層に支持されてヒット作品となりました。

ゲーム攻略本は、「第2次スーパーロボット大戦αザ・コンプリートガイド」（メディアワークス刊 電撃PlayStation編）「スターオーシャンTill the End of Timeザ・マスターガイド」（メディアワークス刊 電撃PlayStation編）等がゲーム人気と連動してヒット作品となりました。

出版提携部門は、引き続き事業規模が縮小しましたが、継続的な事業改善により経営効率は着実に向上しています。

ソフト事業セグメントは、売上高25億66百万円、営業利益1億60百万円となりました。

映画では、「青の炎」「魔界転生」が話題を集めました。また、海外出資作品「ロード・オブ・ザ・リング／二つの塔」が第1作に続いてヒットしました。

DVD販売では、映画「恋に唄えば♪」「THE RING」、テレビアニメ「キディ・グレイド」がヒット作品となりました。また、平成元年公開の角川映画「ファイブスター物語」DVDリマスター版がファンの注目を集めヒットしました。

角川大映映画は、テレビドラマ「OL銭道」を製作・販売し、好成績を収めました。

デジタルコンテンツ事業セグメントは、売上高6億10百万円、営業損失15百万円となりました。

ウォーカープラス・ドット・コムが、PCの高機能化、通信のブロードバンド化が大きく伸展するなか、コンテンツの拡充、認知度の大幅な向上等により事業内容を改善したことが奏功して、赤字額を大幅に縮小することができました。

広告代理店業、物流事業等から構成されるその他事業セグメントは、売上高2億88百万円、営業利益1億54百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況に関して

総資産は、期首に比べて14億7百万円減少しました。

株主資本は、期首に比べて1億82百万円増加しました。配当金支払等の社外流出がありましたが、当期純利益の計上に加えて、株式市況の回復により、その他有価証券評価差額金が増加したことが主な原因です。

株主資本比率は、期首に比べて1.1ポイント上昇し、70.4%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、増益及び資金効率の向上により、前年同四半期比1億79百万円改善し、11億17百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金融情勢を勘案した安定運用資産の短期化、保険積立金の解約等があり、30億30百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払3億23百万円、自己株式の買付2億24百万円等により、7億41百万円の支出となりました。

合計では、34億7百万円の収入となり、現金及び現金同等物期末残高は、312億72百万円となりました。

(3) 業績予想に関して

当四半期の業績は堅調に推移しましたが、デフレ不況の継続等、当社グループを取り巻く経営環境において、当面、厳しい状況が続くものと考えられるため、業績予想の修正は、連結、個別ともに行いません。

2. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第1四半期末 (平成15年6月30日現在)		前第1四半期末 (平成14年6月30日現在)		前連結会計年度末 (平成15年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
I 流動資産						
1. 現金及び預金	26,917		19,562		23,375	
2. 受取手形及び売掛金	21,572		30,510		23,833	
3. 有価証券	6,100		5,552		8,241	
4. たな卸資産	5,025		3,800		4,829	
5. 繰延税金資産	905		1,152		903	
6. その他	4,316		1,719		3,690	
7. 貸倒引当金	△149		△166		△146	
流動資産合計	64,687	61.9	62,129	60.7	64,727	61.1
II 固定資産						
(1)有形固定資産						
1. 建物及び構築物	5,365		5,977		5,444	
2. 工具器具及び備品	1,052		1,128		1,045	
3. 土地	8,505		6,614		8,504	
4. その他	208		269		220	
有形固定資産合計	15,132	14.5	13,990	13.7	15,215	14.4
(2)無形固定資産						
1. 連結調整勘定	1,601		2		1,695	
2. その他	1,388		1,586		1,432	
無形固定資産合計	2,990	2.9	1,588	1.6	3,128	2.9
(3)投資その他の資産						
1. 投資有価証券	12,921		13,140		12,243	
2. 繰延税金資産	651		298		429	
3. 保険積立金	6,111		8,986		8,031	
4. その他	2,387		2,512		2,510	
5. 貸倒引当金	△377		△356		△373	
投資その他の資産合計	21,694	20.7	24,582	24.0	22,841	21.6
固定資産合計	39,816	38.1	40,161	39.3	41,184	38.9
資産合計	104,504	100.0	102,291	100.0	105,912	100.0

(単位：百万円)

科目	当第1四半期末 (平成15年6月30日現在)		前第1四半期末 (平成14年6月30日現在)		前連結会計年度末 (平成15年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%		%
I 流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	16,326		21,029		17,415	
2. 短期借入金	4,022		3,992		4,022	
3. 未払法人税等	602		520		803	
4. 賞与引当金	423		303		761	
5. 返品調整引当金	1,490		884		1,597	
6. その他	4,058		2,631		4,085	
流動負債合計	26,922	25.7	29,361	28.7	28,685	27.1
II 固定負債						
1. 長期借入金	503		741		673	
2. 繰延税金負債	790		328		357	
3. 退職給付引当金	1,023		662		949	
4. 役員退職慰労引当金	377		373		461	
5. その他	121		200		123	
固定負債合計	2,816	2.7	2,305	2.3	2,566	2.4
負債合計	29,739	28.4	31,667	31.0	31,251	29.5
(少数株主持分)						
I 少数株主持分	1,216	1.2	1,674	1.6	1,294	1.2
(資本の部)						
I 資本金	—	—	24,330	23.8	—	—
II 資本準備金	—	—	25,374	24.8	—	—
III 再評価差額金	—	—	△685	△0.7	—	—
IV 連結剰余金	—	—	24,017	23.5	—	—
V その他有価証券評価差額金	—	—	△149	△0.1	—	—
VI 為替換算調整勘定	—	—	29	0.0	—	—
VII 自己株式	—	—	△3,968	△3.9	—	—
資本合計	—	—	68,949	67.4	—	—
I 資本金	24,330	23.3			24,330	23.0
II 資本剰余金	25,374	24.3			25,374	24.0
III 利益剰余金	25,163	24.1			25,061	23.7
IV 土地再評価差額金	△587	△0.6			△587	△0.6
V その他有価証券評価差額金	331	0.3			25	0.0
VI 為替換算調整勘定	△12	△0.0			△11	△0.0
VII 自己株式	△1,052	△1.0			△827	△0.8
資本合計	73,548	70.4			73,366	69.3
負債、少数株主持分及び資本合計	104,504	100.0	102,291	100.0	105,912	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別 当第1四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年6月30日〕		前第1四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年6月30日〕		前連結会計年度 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
I 売上高	21,804	100.0	21,823	100.0	88,801	100.0
II 売上原価	16,338	74.9	17,443	79.9	68,175	76.8
売上総利益	5,466	25.1	4,380	20.1	20,625	23.2
返品調整引当金戻入額	1,597	7.3	961	4.4	961	1.1
返品調整引当金繰入額	1,490	6.8	884	4.1	1,312	1.5
差引売上総利益	5,573	25.6	4,456	20.4	20,274	22.8
III 販売費及び一般管理費	4,656	21.4	3,544	16.2	16,729	18.8
営業利益	916	4.2	912	4.2	3,544	4.0
IV 営業外収益						
1. 受取利息	14		12		50	
2. 受取配当金	47		29		46	
3. 持分法による投資利益	8		—		—	
4. 受取保険金	207		3		166	
5. 古紙売却益	21		7		62	
6. その他	18		20		78	
営業外収益合計	317	1.5	72	0.3	404	0.5
V 営業外費用						
1. 支払利息	11		8		34	
2. 出資金運用損	—		—		112	
3. 持分法による投資損失	—		220		96	
4. その他	6		32		66	
営業外費用合計	17	0.1	261	1.2	309	0.4
経常利益	1,216	5.6	722	3.3	3,639	4.1
VI 特別利益						
1. 固定資産売却益	—		67		373	
2. 投資有価証券売却益	—		—		8	
3. 子会社株式売却益	—		8		209	
4. 関連会社持分変動益	—		4		7	
5. 会員権売却益	—		—		3	
6. 貸倒引当金戻入額	—		—		19	
7. 役員退職慰労引当金戻入額	—		18		18	
8. 厚生年金基金代行部分返上益	—		—		64	
特別利益合計	—	—	99	0.5	705	0.8

(単位：百万円)

科目	当第1四半期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年6月30日〕		前第1四半期 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成14年6月30日〕		前連結会計年度 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
Ⅶ 特別損失		%		%		%
1. 固定資産売却損	—		—		0	
2. 固定資産除却損	—		6		13	
3. ライセンス契約解約損	—		—		171	
4. 営業権償却額	—		—		40	
5. 投資有価証券売却損	—		—		8	
6. 投資有価証券評価損	48		168		1,679	
7. 会員権評価損	—		18		102	
8. 特別割増退職金	19		—		212	
9. 役員退職慰労金	—		13		13	
特別損失合計	68	0.3	206	1.0	2,241	2.5
税金等調整前当期純利益	1,147	5.3	615	2.8	2,104	2.4
法人税、住民税及び事業税	674	3.1	514	2.3	917	1.0
法人税等調整額	—	—	—	—	187	0.2
少数株主損失	42	0.2	88	0.4	423	0.4
当期純利益	516	2.4	190	0.9	1,421	1.6

注) 当第1四半期及び前第1四半期の税金費用の計算は簡便法による税効果会計を適用しており、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計年度
		〔自平成15年4月1日 至平成15年6月30日〕	〔自平成14年4月1日 至平成14年6月30日〕	〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕
		金額	金額	金額
I 連結剰余金期首残高		—	24,157	—
II 連結剰余金増加高		—	11	—
1. 連結子会社の減少に伴う増加高		—	11	—
III 連結剰余金減少高		—	341	—
1. 配当金		—	307	—
2. 再評価差額金取崩額		—	34	—
IV 当期純利益		—	190	—
V 連結剰余金期末残高		—	24,017	—
(資本剰余金の部)				
I 資本剰余金期首残高		25,374		25,374
II 資本剰余金期末残高		25,374		25,374
(利益剰余金の部)				
I 利益剰余金期首残高		25,061		24,157
II 利益剰余金増加高		516		1,433
1. 当期純利益		516		1,421
2. 連結子会社の減少に伴う増加高		—		11
III 利益剰余金減少高		414		529
1. 配当金		323		307
2. 役員賞与金		91		—
3. 連結子会社の増加に伴う減少高		—		2
4. 土地再評価差額金取崩額		—		132
5. 自己株式処分差損		—		86
IV 利益剰余金期末残高		25,163		25,061

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計年度
		自平成15年4月1日 至平成15年6月30日	自平成14年4月1日 至平成14年6月30日	自平成14年4月1日 至平成15年3月31日
		金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益		1,147	615	2,104
減価償却費		272	290	1,190
連結調整勘定償却額		94	0	196
退職給付引当金の増減額		73	96	2
役員退職慰労引当金の増減額		△83	△3	31
受取利息及び受取配当金		△61	△41	△96
支払利息		11	8	34
持分法による投資損益		△8	220	96
投資有価証券評価損		48	168	1,679
売上債権の増減額		2,495	1,809	9,158
たな卸資産の増減額		△195	△87	△274
仕入債務の増減額		△1,085	△1,389	△5,220
役員賞与の支払額		△93	—	—
その他		△685	△552	△205
小計		1,931	1,136	8,696
利息及び配当金の受取額		74	43	100
利息の支払額		△13	△4	△35
法人税等の支払額		△875	△237	△624
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,117	937	8,136
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券の取得による支出		△1,401	—	△1,499
有価証券の売却等による収入		3,200	700	3,689
有形固定資産の取得による支出		△57	△119	△225
有形固定資産の売却による収入		—	197	868
無形固定資産の取得による支出		△132	△29	△147
投資有価証券の取得による支出		△200	△210	△1,887
投資有価証券の売却等による収入		—	—	120
子会社株式の取得による支出		—	—	△5
保険積立金解約による収入		2,175	13	1,319
営業譲受による支出		—	—	△1,443
その他		△552	163	△634
投資活動によるキャッシュ・フロー		3,030	715	153
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額		△26	△24	6
自己株式の取得による支出		△224	—	△432
配当金の支払額		△323	△307	△307
その他		△167	7	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー		△741	△323	△814
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		0	△9	△14
V 現金及び現金同等物の増減額		3,407	1,319	7,461
VI 現金及び現金同等物期首残高		27,864	19,522	19,522
VII 新規連結による現金及び現金同等物の増加額		—	79	79
VIII 株式交換による現金及び現金同等物の増加額		—	—	1,087
IX 連結除外による現金及び現金同等物の減少額		—	△286	△286
X 現金及び現金同等物期末残高		31,272	20,635	27,864

(5) セグメント情報

当第1四半期（自平成15年4月1日 至平成15年6月30日）

（単位：百万円）

	出版事業	ソフト事業	デジタルコンテンツ事業	その他事業	計	消去又は全社	連 結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	18,339	2,566	610	288	21,804	—	21,804
(2) セグメント間の内部売上高	170	20	498	861	1,551	(1,551)	—
計	18,509	2,587	1,108	1,150	23,355	(1,551)	21,804
営業費用	17,289	2,426	1,123	995	21,835	(947)	20,888
営業利益	1,219	160	△15	154	1,520	(603)	916

前第1四半期（自平成14年4月1日 至平成14年6月30日）

（単位：百万円）

	出版事業	ソフト事業	デジタルコンテンツ事業	その他事業	計	消去又は全社	連 結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	17,973	3,131	391	327	21,823	—	21,823
(2) セグメント間の内部売上高	182	9	511	738	1,442	(1,442)	—
計	18,156	3,140	902	1,066	23,266	(1,442)	21,823
営業費用	16,932	2,926	1,038	982	21,880	(968)	20,911
営業利益	1,223	214	△135	84	1,385	(473)	912

前連結会計年度（自平成14年4月1日 至平成15年3月31日）

（単位：百万円）

	出版事業	ソフト事業	デジタルコンテンツ事業	その他事業	計	消去又は全社	連 結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	73,899	10,699	2,475	1,726	88,801	—	88,801
(2) セグメント間の内部売上高	883	183	2,184	3,164	6,416	(6,416)	—
計	74,783	10,883	4,660	4,890	95,217	(6,416)	88,801
営業費用	69,340	10,408	5,283	4,525	89,558	(4,302)	85,256
営業利益	5,442	474	△623	364	5,659	(2,114)	3,544

注) 各区分に属する主要な製品及び役務

- (1) 出版事業…雑誌、書籍
- (2) ソフト事業…映画、ビデオソフト、ゲームソフト等
- (3) デジタルコンテンツ事業…ウェブサイト、デジタルコンテンツ制作等
- (4) その他事業…物流、不動産賃貸等